



日々のつぶやき Vol.13 2017.05.30

■安定期こそが今後を左右する～墮落か躍進か～

▶大型連休というかき入れ時に頼る限り、観光業の進化は難しい（5月1日日経春秋）▶連合総研の調査によると在宅勤務（テレワーク）制度に対し約30%が「今後も利用したいと思わない」と回答したそうです。「初心に戻る」という言葉は、節目毎に多用されます。理由は墮落です。人は日々に多少の不満があろうとも、安定していれば妥協します。企業も同様。順風満帆は事業を害する甘美な毒です。本当の危機感・現状打破の気概は困窮しなければ生まれませんが、その時の自社は末期でジリ貧の状態です。安定期こそが自社の将来を左右する岐路。成長の布石を打つ好機となります。